

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

令和6年 学校教育だより

September **9** 第362号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711(内線622)



感動を響かせろ

写真提供／ふじみ野小学校



南風

すずしく感じる

かみ切って

古暮 咲千

諏訪小学校 五年

はじめに

平成二十七年三月、学校教育法施行規則が改正され、「道徳の時間」が「特別の教科道徳」（道徳科）として位置付けられた。これは、道徳科の授業を見直し、多様で効果的な指導方法の工夫を図ること等とおして「考え、議論する道徳」へと質的転換を図ることを目的としている。

本校一学年（昨年度）の実態を見ると、道徳が教科化されたとはいえ、「道徳の授業が好きである」に「よくあてはまる」と答えた生徒は十九%程度に留まり、主体的な参加が十分できていないとはいいたい。そこで、「考え、議論する道徳」について研究し、多様な指導方法を実践することで、授業を受ける意義を理解しながら主体的に参加する生徒を増やしていこうと考えた。そして、道徳科の目標の達成と、変化の激しい時代を生き抜く生徒一人一人が多様な価値を受け入れ、他者と協働しながら、よりよい生き方を選択、実践していく力を身に付けていくことを願い、本研究主題を設定し、昨年度研究に励んだ。その研究の一部を紹介する。

授業の在り方に関する研究 方法を目指して～

指導者 西中学校 教諭 大島 知也

研究の手順

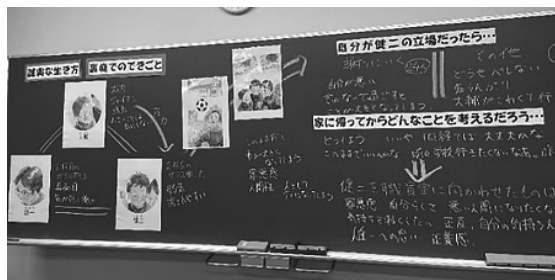
研究を、(一) 学校、生徒の実態把握 (二) 職員全体の意識の向上 (三) 多様な指導方法の設定 (四) 授業実践、の順に行った。(二)では、夏季休業を利用して、「考え、議論する道徳の授業づくり」と題して、パワーポイントを使い、職員研修を行った。併せて、五年目以内の教員を対象に「道徳科授業の悩み」について記してもらい、全員に返答した。(三)では、主題に迫るための多様な指導方法を、①板書の工夫 ②ICTの活用 ③役割演技などの表現の工夫 ④効果的な発問、の四つに設定し、道徳科の授業で実践した。

研究の実際

実践の一部を紹介する。

①板書の工夫について

「裏庭のできごと」の授業時に、三人組の友人の写真を、友人関係を示せるよう三角の形に二重線で結び、一番強い登場人物を、力関係を意識して一番上に貼り付け、下に矢印を伸ばして、友だち（健二）に圧力をかけているかのような様子を恣意的に表現し、場面絵を重ねながら後半の発問につなげる板書をした。これにより、授業をスムーズに進行でき、内容理解も深まり、教科書の文章に頼ら



ず、自分事として考えることの
一助になったと言える。

②ICTの活用について

ICTは主に(A)Formsを活用した事前アンケートの実施 (イ)ノートイメーの提示 (ウ)「学習支援システム」を活用した意見交流 (エ)臨場感が増す効果音の再生、で活用した。多面的・多角的に考えることと、発表するのが苦手な生徒の意見を吸い上げることに効果的であると感じた。

③役割演技などの表現の工夫について

「ふれあい直売所」の授業時に、役割演技を設定した。工夫した点は、(ア)役名を色分けして書いたものを首からぶら下げさせて



水谷東小学校 4年
山内 玲奈

大ちゃんから学んだよ!

総合的な学習の時間にパラリンピック銀メダリストの上原大祐さんに来てもらい、たくさんのことを教えてもらいました。私が印象に残っている言葉は、「どうせ負けるからいいやではなく、次は勝つと思えば勝てる。」という言葉です。私はバスケットボールを習っていて、本当にそうだなと思いながら話を聞いていました。私は障害のある人がスポーツをするのは、とても大変だと思っていたのですが、上原さんは「足があってもなくてもスポーツを楽しむ方がいい。」と、教えてくれました。監督にも「辛いのを顔に出さずに楽しんでやるんだぞ。」と、言われたので、今は、バスケットボールを楽しんでいます。また、上原さんに会えたら、いろいろなお話をお聞きしたいです。



わかる授業

= 中学道德 =

「考え、議論する道徳」 ～質の高い多様な指導



役作りに身が入るようにしたところ、(イ)学区内の無人販売所と同じようなかごや、本物の野菜とお金を用意し、臨場感を感じられるようにしたことウ「主人公が直売所を続けるのを断念するよいうな、そんな行動をしてほしいな」などと醸し出してほしい雰囲気を与え、主人公が感じた感情を、生徒が感じられるように

指示したことである。

実際には、役割演技を楽しむながら、真剣に取り組む姿が見られ、授業の主體的な参加と主人公の心情理解につながる効果的な指導だったと言える。

④効果的な発問について

いじめについての授業時、道徳的判断力を育むことをねらいとして、「もし、自分の悪口を言ってきたり、いじわるをしてきたりした人がいじめられていたらどうする？」と投げかけたすると、生徒A「絶対助けない。」生徒B「助けたくはないけど、見捨てると自分もやっていることと同じになる。それはいや

学校応援団との繋がり

本郷中学校 教諭 池田 文子

特別支援教育

本校では、学校応援団の方々がいろいろな活動場面で力を貸してくださっています。昨年までは、コーディネーターに学級で読む本の選書や手続きをしていただいていました。今年はコーディネーターを介して何が体験できるか相談をしながら計画を立てることができました。

の講師をお願いし、短冊の織姫、彦星の作り方を教えていただき、生徒たちは小学生がたくさん短冊が書けるようがんばりました。例年教員が用意していた笹も自分たちで取りに行き、斜面に生えていることに驚きながら枝おろしをして準備をすめていました。当日は小学生と有意義な時間を過ごすことができました。

たり「自分たちでできることは
やろう」と学校応援団に折り紙

毎月行われているアルミ缶

畑の整備などにおいても、直接たくさんのことを教えていただいたことで生徒の達成感に満ち溢れる笑顔が見られました。体験を重ねることで自信をつけ、どんな場面でも堂々と挨拶ができるようになりました。これからも地域の方々の支えにより生徒たちの郷土への愛着をはぐくんでいきなすと思います。

成果と今後について

だ。」生徒C「悪口を言われてたからこそ、その辛さが分かると思うから、私は誰であろうと助けます。」など、様々な意見が出て活発な意見の交流につながり、多面的・多角的に物事を捉える、効果的な発問だったと言える。

研究の事前と事後にアンケート（五月）を行った結果、すべての項目で数値が向上した。



要因としては、四つの指導方法が相互に作用し、道徳科の目標と「考え、議論する道徳」の実現につながったこと、そして、ICTの活用など、授業自体の楽しさを見出せたからだと考える。特に、生徒の授業の感想から、授業時に臨場感を感じさせる工夫は、「考え、議論する道徳」の実現と授業の主体的参加に大

指導・講評

生きるために機能する道徳

西中学校 堀川 博基

少子高齢化・人口減、紛争・環境問題等の地球規模の課題、低い生産性・学ばない社会、国や社会への意識の低下…。未来を生きたる生徒たちが直面する課題となります。数多くの悲観的予測がされる将来において、生徒が自分らしく生きていくための基盤となるのが、この「考え議論する道徳」です。

大島教諭の意図的な創意工夫のもと、生徒たちが自分について考えます。自分の価値を探索します。他者の思いを共有します。自分の未来を思い描きます。まさしく自分の人生に機能するのが西中の展開する「考え、議論する道徳」となります。今後とも生徒一人一人のウェルビーイングを目指し、道徳教育の充実を図ってまいります。

「夢ときぼうをはぐくむ」

富士見台中学校 保護者 大塚 正己

我が家では、六年前の末っ子の体育祭以来、久しぶりの体育祭。六年前と言えば、二月の高校入試の日、学校からの連絡メール「試験終了後、学校には登校せず自宅へ帰宅してください。」から始まって、見えない新型コロナウイルスの流行に至っていましたね。その年の卒業式もダメ、進学先の高校も四月から入学できず。何もかも規制され、やっと今年緩和されつつ、コロナ禍前に近い内容の体育祭が戻ってきました。全てが戻ることはなくいろいろ検討され、現代の形になっての開催になりました。でも、よいよ。

入場、部活対抗リレーも畳がバトン替わりだったのが懐かしい。を感じてはいるものの、今回の体育祭が終わる頃には、生徒たちも団結し、先生方も保護者も涙ぐむほどの体育祭が行われたことに感謝です。

コロナ禍で当たり前に開催できなかった先輩たちにも、その時があったから後輩は、伝統を引き継いで開催ができましたと伝えたい。

現在、いろいろな規制に対応している子どもたちが将来に向かって大きな夢ときぼうをもつて前に進んでいます。頑張れ。



「鼓笛隊」

南畑小学校

南畑小学校には、市内唯一の鼓笛隊があります。毎年十二月に行う引き継ぎ式により六年生から五年生に引き継がれており、今年度の鼓笛隊は第六十三代になります。引き継ぎ式が終わると五年生は二月の受け継ぎ式に向けて練習を行います。六年生に演奏の仕方を教わり、パートリーダーを中心にパート毎に練習を行います。

作られた「水田に生命輝く」を演奏しました。新しい楽器も加わり、さらに華やかさを増した演奏を披露することができました。

今年度は、運動会の入場行進で校歌を演奏しました。今後は、地域の様々な行事にも参加をする予定です。学校だけでなく、たくさんの方に演奏を聴いてもらうことを通して、仲間と共に一つのものをつくり上げる喜びや伝統の重みを感じ、これからも



後輩へと受け継いでいってほしいと思います。

「我が子の応援団として」

みずほ台小学校 保護者 川口 美紀

この度「夢ときぼうをはぐくむ」というテーマをいただき、小学三年生の息子に、

「夢や希望って何かある?」

と質問してみました。答えは、「うーん。」

振り返れば私自身、日々息子に対して、

「宿題は?持ち物は?」

と繰り返すばかりで、夢や希望を話題にしたことがなかったと思います。

執筆を私の意識を変えるチャン

スと思い、息子の夢や希望をはぐくむためにできそうなことを考えてみました。

まずは、いろいろな経験をさせたいと思います。多くの人、場所と出会い、夢のきっかけを沢山見付けて欲しいです。

息子から授業で外部の先生にリコーダーや書写を教わったり、「地図探検」として学校周辺を四回に分けて歩いたりしたと聞きました。

学校でこのような機会を設けて

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

くださることに感謝すると共に、息子と積極的に外に出ようと改めて感じました。

そして、柔軟な対応も大切にしたいと思います。息子の夢や希望は、時と共に変化することもあるでしょう。挫折して、変えざるを得ないこともあるかもしれません。その時は笑って、「次の夢も素敵だね。」と言ひ、応援できる自分でありたいです。

最後に、夢や希望について考えるきっかけをいただいたことに御礼を申し上げ、息子にエ

ールを送りたいと思います。「一緒に楽しく、夢と希望を見つけてはぐくもう！」



「二人一人が自分の色と明るさで輝く」

壁画の制作

水谷中学校

水谷中学校では、「生徒一人一人が自分の色と明るさで輝く学校」を目指す学校像に掲げ、水中魂『感動は挑戦と思いやりから』を、生徒も先生も胸に日々教育活動に励んでおります。

表現活動につなげるとともに、完成後は、その美術作品を日々の生活の中で鑑賞し、豊かな情操を高める教育の一環として行っています。

今年度、美術部の生徒たちが、六月から数か月をかけて壁画制作に取り組んでいます。学校生活の中で美術に触れる機会を多くすることで、美術に対する壁をなくし、充実した

来年度、校舎の大規模改修工事が控えているため、制作した作品は撤去されてしまう可能性が高いのですが、現在の美術部の生徒一人一人が、自分の色と明るさで輝く学校のために、デザインや配色を考え共同作業で行っている壁画制作。どのような輝き

をもった作品に完成するのか、今から楽しみです。



教育課題特集

夢ときぼうを

「安心な登下校を支える地域の『目』」

鶴瀬小学校 スクールガードリーダー 津川 幸子

皆さん、スクールガードリーダーを知っていますか。今ではだいぶ知られるようになってきました。取り組み方は学校や地域によって様々です。私は主に下校時、夕方の見守りをしています。「さようなら、気を付けてね。」と声をかけると、「さようなら。」「いつもありがとうございます。」

と元気な挨拶や感謝を伝えてくれます。いつもより楽しそうだったり、いつもより元気がなかったり、様々な表情を見る中で、子どもたちの成長を身近に感じています。

私は子どもたちに、交通安全を通じて『他者を思いやる心』をもってほしいと思っています。昨年度埼玉県交通安全事故死者は、全国ワースト六位でした。待つ、譲る、進む、周囲を見る、その判断力が事故を起こさず、事故に巻き込まれる可能性を減らしてくれそうです。子ども自身が気を付けることは勿論ですが、大人

も交通ルールを守り、他者を思いやる姿を子どもたちに見せていくことが大切だと思います。埼玉県各小学校には一人ずつスクールガードリーダーが任命されており、地域のたくさんの目で子どもたちの安心な登下校を支えています。地域の力で安心、安全に子どもたちが過ごせるようにするには、人と人との関わりが重要です。子どもたちのよりよい未来へ繋がっていくという思いを胸に、これからもスクールガードリーダーの活動を通して子どもたちに関わり、自分自身も成長していけるように、地域に貢献していきたいと思っています。





第42回 水谷中学校体育祭

全生徒が団結し、全力を尽くし、絆を深める体育祭になりました。

水谷中

思い思いの夏休みを過ごした子どもたち。二学期のスタートと共に、校舎に元気な声が響き渡り活気が戻ってきました。

今学期は、運動会や音楽会など多くの行事が計画されています。一つ一つの行事への取組から、協調性や連帯感が生まれ、時には課題が生じ、その課題を乗り越え、成し遂げた時の達成感や充実感から人はさらに大きく成長します。そのような活動を通して、それぞれの学校の特色が生まれます。

子どもたちが生き生きと活動し、一人一人が輝くことができるように教職員一同、支援していきます。

地域や保護者の方々には、是非、学校へ足を運んでいただき、子どもたちの様子をご覧になり、今後ともご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



鶴瀬小

色別遊び～異学年の仲間集団へ～

毎週水曜日の朝活動は異学年グループでの色別遊び！6年生が計画した遊びで毎回楽しい時間を過ごしています。



富士見台中

叶えてね、みんなの想い in Daichu セタ Fes.

よつば学級、家庭科部、地域の方々と、想いを星と笹に託し、昇降口に飾っています。



水谷小

1日のスタート チェックイン！

毎朝行っている1分間の瞑想とペアでの話し合い。友だちの話を聞き、共感し合う姿がたくさん見られます。

図書館ってどんなところ

富士見市立中央図書館 長谷川 実

先日、市内小学校の三年生から六年生の児童が、周辺マップを作成するため図書館に来館しました。その際、二、三年生が図書館見学で来館した時に質問する、「図書館にある本を積み上げるとどのくらいの高さになるか」（答えは富士山）という質問に対し、昨年来た児童は答えられましたが、高学年は答えられませんでした。実は令和二年から新型コロナウイルスが流行し、図書館見学できない時期があり、その質問を聞いたことがなかったことがわかりました。そこで、今回は、図書館を使うにあたってのルールやサービスについて、皆さんに知ってもらいたいと思います。

図書館は、本と出合うところ、本を借りたり返したりするところ、調べ物をするところ、だれでも使えるところです。

本と出合える図書館には読み物から知識の本、絵本などたくさん本があります。中央図書館で約三十二万冊、分館にはそれぞれ四万冊があります。その中から自分の読みたい本を探すのは大変ですね。子どもたちが図書館に来た時に必ず説明することがあります。それは十進分類法です。図書館の本を0から9までの似たような仲間同士の大きな分類に分け、本の背表紙に数字のラベルを貼って並べていることです。なぜ、分類法を教えるかというと、これを覚えておくとな国のどの図書館に行っても、自分の探したい本が見つかるからです。



特別支援学校

富士特プール開き！

本校は温水の室内プールが自慢です。今日も子どもたちは元気に水泳学習を楽しんでいます。



南畑小

あいさつ運動

今年度から、全クラス参加のあいさつ運動が復活しました。朝から元気なあいさつがいっぱいです。



つるせ台小

楽しいね！「ハッピータイム」

つるせ台小の縦割り活動。青々とした芝生の校庭で、思いきり遊んでいます。2学期の「つるせ台フェスティバル」も楽しみです。



本郷中

ぴたっとHello

「ぴたっとHello」は、しっかりと止まって挨拶をすることで、本郷中の伝統として、確実に受け継がれています。



ふじみ野小

救命講習(PUSH)体験

ふじみ野救急病院の方々を招いて、6年生が胸骨圧迫・AEDの使い方を学びました。



また、そのお目当ての本がある棚に行くと、さらに面白いタイトルや表紙の本と出合うことがあります。これは図書館に来ないと味わえない魅力だと思います。

本を借りるには、図書館利用カードが必要です。毎年小学校の新一年生にはカードをつくってあげていますが、カードをつくるには、住所の確認できるものが必要です。このカード一枚で、市内全館で本を借りることができます。中央図書館では二十冊、分館では冊数制限がありません。また、返す時は市内の図書館や公共施設で返すことができます。

調べ物をするには、図書館司書さんに相談してください。「〇〇さんが書いた本はどこにありますか」「〇〇について調べたいけど、どんな本にのっていますか」など、自分だけの力ではちょっと難しいときは、ぜひ司書さんの力を借りてください。

最後に誰でも使える場所ということで、図書館は赤ちゃんからお年寄りまで使えます。また、目の不自由な方のための大きな活字の本や点字の本なども置いてあります。

さあ皆さん、図書館を使いこなしましょう。

教育委員会だより

○令和6年度学校総合体育大会〈中学校の部〉

県大会・関東大会・全国大会 結果

富士見台中学校 水泳 女子 200m自由形
板山 桃花(2年) 200m自由形 県大会6位 関東大会出場

富士見台中学校 新体操 女子 総合
竹田 美ら(2年) 県大会1位 関東大会6位 全国大会出場

本郷中学校 水泳 女子 100mバタフライ・200mバタフライ
中谷 陽香(3年) 100mバタフライ 県大会2位 全国大会出場
200mバタフライ 県大会1位 全国大会出場

東中学校 卓球 女子 シングルス
新井 真央(3年) 県大会7位 関東大会出場

西中学校 水泳 女子 100m背泳ぎ・200m背泳ぎ
良岡 桜莉(2年) 100m背泳ぎ 県大会5位 関東大会出場
200m背泳ぎ 県大会7位 関東大会出場

西中学校 水泳 女子 100m平泳ぎ・200m平泳ぎ
鈴木 瑠華(3年) 100m平泳ぎ 県大会3位 全国大会出場
200m平泳ぎ 県大会2位 全国大会出場

西中学校 水泳 女子 100m自由形・200m自由形
吉原 優花(3年) 100m自由形 県大会8位 関東大会出場
200m自由形 県大会3位 関東大会出場

西中学校 男子バレーボール
県大会優勝 関東大会5位 全国大会決勝トーナメント進出

勝瀬中学校 陸上 男子 走り高跳び
塚原 暁人(3年) 県大会3位 関東・全国大会出場

水谷中学校 陸上 男子 3000m
辻 瑛人(3年) 県大会6位 全国大会出場



成長

つるせ台小学校

教諭 内田 瑞姫



四月、六年二組の担任となり久しぶりに子どもたちとの再会を果たしました。出会いは三年前。私は初任者として着任し、三年二組を担当しました。コロ

生です。当時から思いやりがあり心優しい子どもたちでしたが、六年生となった今はさらにレベルアップし、つるせ台小学校の「顔」として成長中です。

六年生の初仕事は「ヘルプ」です。当時から思いやりがあり心優しい子どもたちでしたが、六年生となった今はさらにレベルアップし、つるせ台小学校の「顔」として成長中です。

隊」でした。入学して間もない一年生に朝の支度、給食の片付け、掃除の仕方を教え、助ける役目です。初日は慣れないことに戸惑いや不安もあったようですが、六年生同士で声をかけ合

か周りをよく見たりする六年生の姿が見られました。その姿はとても頼もしく、リーダーとしての自覚が強く伝わってきました。

編集日記

市内では、地域ごとに趣向の凝らされた体育祭があり、昨年あたりから賑わいが戻っている。そこで、子どもの体力について取り上げてみたい。概ね、低下傾向に歯止めがかかってきているといわれているが、体力水準が高かった昭和六十年頃と比較すると依然として低く、また、スポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著となり運動習慣の定着が難しいようである。

平成二十年度から小学校五年生と中学校二年生を対象に文部科学省が実施してきた「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、令和四・五年度調査との比較では、体力が回復基調であるが、コロナ以前の水準には至っていないことや回復の度合いに男女間で差があることがわかった。

学校における体力向上の取組では、休み時間等を利用した活動を全ての児童生徒に実施した割合は、小学校では増えてきているようである。幼児の運動促進も盛んである。十月は「スポーツの日」がある。運動は楽しいと感じられる富士見市の子どもたちは、これからも進んで体力づくりに励むであろう。

(関口循子)